

事務事業名		高齢者地域セミナー事業			<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業					
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目					
	施策名	25 生涯学習の推進					<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)	会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02 市民の学習活動への支援						01	10	05	04	05
根拠法令					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入							
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・高齢者に対して、多様な学習機会を提供するとともに、活動を通じて積極的な社会参加を養う事業。 ・事業の内容は、各地区の高齢者が運営委員会を組織し、講座開設の企画を行う。 ・主な業務は、運営委員会の支援、学習計画の立案、講師の依頼、開級式・閉級式の開催、謝金等の支払いなどの講座の運営支援を行う。歯の健康、食生活、振り込め詐欺の対策、いつも明るく生きる、孫との接し方、交通安全などがテーマとなる。 ・事業費は、講師謝金・旅費、消耗品代などに支出される。							
	係名	中央公民館	電話	26-3166								
			内線	432								
全体計画(※期間限定複数年度のみ)					総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金					
						財源内訳	都道府県支出金					
							地方債					
							その他					
							一般財源					
							事業費計(A)			0		
						人件費	正規職員従事人数					
						延べ業務時間						
						人件費計(B)			0			
						トータルコスト(A)+(B)			0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
市內11地区で、運営委員会を実施し、講座回数を減らして開設した(5月から12月までの毎月1回程度、1地区あたり6回程度)。		ア	運営委員会開催回数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	講座開催回数
昨年度と同様に11地区で開設する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・60歳以上の高齢者		名称	
		単位	
		カ	4月末の60歳以上の高齢者数
		キ	実講座参加者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・学習活動を継続することで、より生きがいのある生活を送れるようになる。		名称	
		単位	
		サ	延べ講座参加者数
		シ	今後も講座に参加したいと感じた高齢者の割合
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・学習意欲の啓発・向上がなされている。			
・主体的な学習活動が行われている。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度					
				23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		563	665	663	663	663
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	563	665	663	663	663	663
	人件費	正規職員従事人数	人	0	3	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	0	165	165	165	165	165	
	人件費計(B)	千円	0	660	660	660	660	660	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,223	1,325	1,323	1,323	1,323	
⑤活動指標	ア	回	—	25	25	25	25	25	
	イ	回	—	67	68	68	68	68	
	ウ								
⑥対象指標	カ	人	—	15813	16000	16000	16000	16000	
	キ	人	—	868	900	900	900	900	
	ク								
⑦成果指標	サ	人	—	2451	2300	2300	2300	2300	
	シ	%	—	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
	ス								

事務事業ID	0866	事務事業名	高齢者地域セミナー事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	少子高齢化社会の振興に伴い、高齢者の持つ知識や技能を活用しながら生きがいをもって社会参加してもらうため、平成10年度から開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	参加する方は減少している地区と増加している地区がある。対象者は高齢化の進展に伴い、増え続けており、団塊の世代の大量退職により今後も増え続けることが予想される。 平成23年度は東日本大震災による事業の見直しで全て休止した、今年度から各地区の実施回数を8回から6回に減らして事業を再開した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	参加している高齢者の方々からは、継続実施を多数要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 広く高齢者へ学習機会を提供することにより、生涯学習の推進に結びつく。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 高齢者の社会参加を図りながら、生きがいをもって学習活動を行う事業は他になく、高齢者の生きがい作りのためにも必要である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 市内の高齢者(60歳以上)を対象としており、対象・意図とも適切である。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 対象者は、増加しているが参加者数はほぼ横ばい状態である。より多くの方が参加し、学習・交流を図り、高齢者の抱える孤独化、非社会化の問題解決の一助となつてほしい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 高齢者の生涯学習活動の場や機会を提供できなくなる。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市内各地区に老人クラブが組織され、社会福祉協議会等がその運営を支援しているが、市の事業には類似事業はない。また、市老連とは、共催により健康づくり事業を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 高齢者の希望する学習内容に沿った講師として、謝金を必要としない県や市の職員等を依頼することにより、事業費を削減しているため、これ以上の削減は困難である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 高齢者の方々の協力を得ながら運営しているため、今以上の業務時間の削減は難しい。職員数の半分は、非常勤職員が従事している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 参加者も様々な負担を行っており、公正な受益負担となっている。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	0866	事務事業名	高齢者地域セミナー事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>全体的に参加者からは非常に好評を得ている事業である。内容も多岐に亘り、地区内にとどまらず市内外への野外研修も実施しており、毎年事業の実施を楽しみにしている高齢者が多い。平成24年度から各地区の実施回数を減らし(交流会は当分中止を申し合わせして)て事業を再開した。</p>																					
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年3月に発生した東日本大震災により、高齢者が他地区への転居や仮設住宅に入居していることにより、地域内のつながりが薄れてきているが、地区公民館と協力体制を密にして、対象となる高齢者に参加を呼びかける。 また、学習に参加してもらうことにより、生きがいづくりを継続していく。 公民館運営審議会でだされた「セミナーの名称に『高齢者』という言葉が入らない方がよい」との意見を取り入れ、セミナーの名称を「生きがいセミナー」と改称する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業は適切に運営されており、参加者にも好評を得ている。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 事業内容をPRし、セミナー参加者の増員を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
